

2020年3月30日

株式会社七十七銀行

「みやぎ地域価値協創ファンド」の新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応について
～感染拡大の影響を受けられたお客さまを資金面・財務面で支援します～

株式会社七十七銀行(頭取 小林 英文)および株式会社日本政策投資銀行(社長 渡辺 一)は、2018年9月に共同で設立した「みやぎ地域価値協創ファンド」において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業に影響を受けられたお客さまも投資対象として、資金面・財務面で支援いたします。

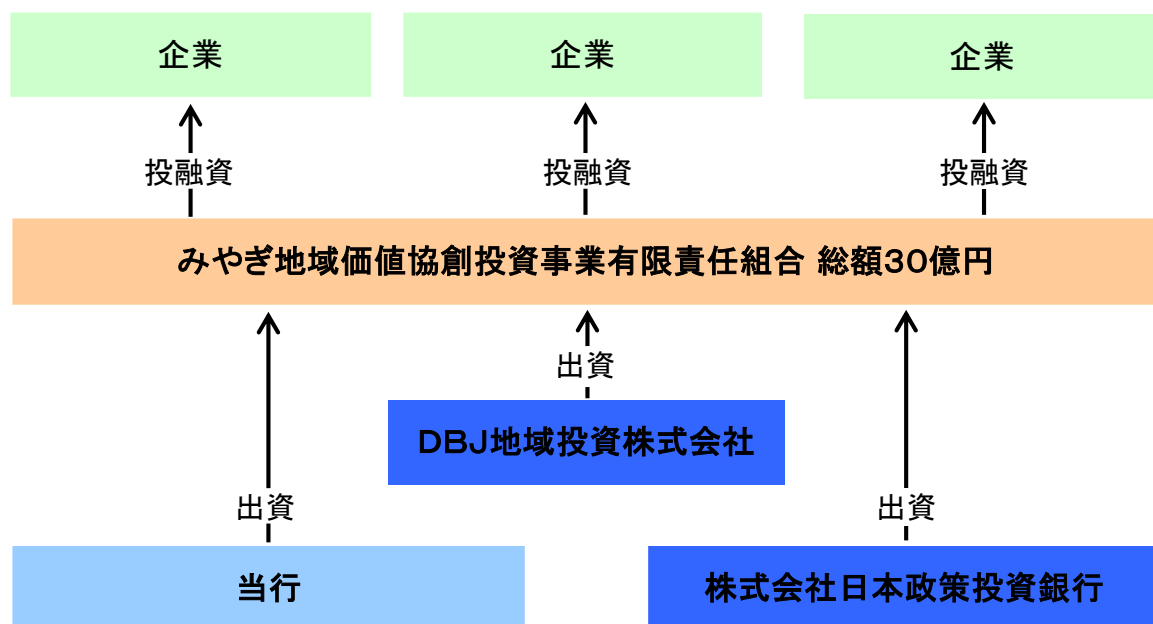
当行および日本政策投資銀行は、2011年3月11日に発生した東日本大震災からの復旧資金供給を目的に、同年8月に「みやぎ復興ブリッジファンド」を共同で設立して以降、被災地の復興・成長ステージの進捗に合わせた資金供給を継続してまいりました。本ファンドは両行が共同で設立した第3号ファンドであり、当行本支店の営業地域に事業拠点を持つ企業、または当該地域の活性化に資する事業を行う企業を対象として、事業基盤の拡大・成長および改善・強化を支援するために、中長期の資本性資金等を供給するものです。

当行は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業に影響を受けているお客さまに対し、緊急ご融資の取扱いなど、迅速かつ円滑な資金供給に努めておりますが、本ファンドの活用により、地域のお客さまに対する支援をより一層強化してまいります。

【「みやぎ地域価値協創ファンド」の概要】

- | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 名称 | みやぎ地域価値協創投資事業有限責任組合 |
| 2. 総額 | 30億円 |
| 3. 設立日 | 2018年9月28日 |
| 4. 出資者 | 無限責任組合員：DBJ地域投資株式会社(注)
有限責任組合員：当行、株式会社日本政策投資銀行
注. 株式会社日本政策投資銀行の100%子会社 |
| 5. 期間 | 投資期間5年間、存続期間12年間 |

【ファンドスキーム】



以上